



▲大盛況のフィナーレ！

当日は、上風 from 上々颯風など8組のアーティストが出演し、様々なジャンルの音楽を披露しました。会場には多くの観客が集まり、出演者と一緒に歌や踊りを楽しむ場面もありました。

大トリには、同寺副住職の渡邊英心さんが活動するバンドが登場しました。最後は観客と一緒に楽曲を演奏し、大盛況のままライブの幕を閉じました。

8月1日、松庵寺（鹿渡）において第12回松庵寺郷土まつりが開催されました。

お寺の中でライブ!!
松庵寺郷土まつり開催



▲デジタルおえかきに挑戦♪

参加した児童たちは、好きなキャラクターや食べ物、夏休みの思い出などを自由に描いて楽しみました。

講師にはMXモバイリング株式会社の方を迎え、タブレットを使ったデジタルおえかきに挑戦しました。

8月4日から6日にかけて、町内3地区において「デジタルおえかきスクール」が開催されました。このスクールは、小学生を対象に、デジタル機器に慣れ親しんでもらうことを目的として開催されました。

色も形も無限大！
タブレットでおえかき



▲伝統芸能を初披露！

今年は近年で最も多い子どもたちが参加し、練習の成果を一生懸命披露しました。また中学生も新しい演舞に挑戦するなど、次世代への伝承に向けて確かな一歩を踏み出しました。

中館番楽は、400年以上の歴史をもつ町指定無形民俗文化財です。将来的な、なり手不足の解消に向けて、保存会では琴丘小学校での指導や、地区外からの参加を呼びかけるなど、伝承活動に力を入れてきました。

8月13日と14日、中沢公民館と館村コミュニティセンターにおいて中館番楽お盆公演が開催されました。

400年の歴史をつなぐ
中館番楽がお盆公演



▲平和を願って

町遺族会の代表は「今もなお世界では戦争が続く、私たちの生活にも影響を与えている。遺族会の高齢化が進んでいるが、戦争の記憶を次世代へ語り継ぎ、平和な世界を未来永劫実現していく」と追悼の言葉を述べました。

昭和20年の終戦から、今年で81年が経ちます。出席者は、祖国の安寧と家族の幸福を祈り、異国の地で命を落とした戦没者に対して想いを馳せました。

8月24日、山本地域拠点センターにおいて三種町戦没者追悼式が行われました。

終戦から81年
戦没者追悼式を開催